

平成 22 年 8 月 4 日
内閣府公共サービス改革推進室

民間競争入札実施事業

自動車検査独立行政法人 中央実習センターの管理・運營業務の評価（案）

競争の導入による公共サービスの改革に関する法律（平成 18 年法律第 51 号）第 7 条第 8 項の規定に基づく標記事業の評価は以下のとおり。

I 事業の概要等

1 実施の経緯及び事業の概要

自動車検査独立行政法人（以下「検査法人」という。）の中央実習センターの管理・運營業務については、公共サービス改革基本方針（平成 19 年 12 月 24 日改定を閣議決定）において、競争の導入による公共サービスの改革に関する法律（平成 18 年法律第 51 号）に基づく民間競争入札（以下「民間競争入札」という。）を実施することを決定した。これを受けて検査法人は官民競争入札等監理委員会の議を経て、「自動車検査独立行政法人中央実習センターの管理・運營業務民間競争入札実施要項」（以下「実施要項」という。）を定め、実施要項に基づき、民間競争入札を実施し、受託事業者を決定している。その概要は以下の通りである。

事 項	内 容
業務内容	中央実習センターにおける厚生補導業務、点検等及び保守業務、清掃業務、施設警備業務、給食業務等
契約期間	平成 21 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日までの 2 年間
受託事業者	日国サービス株式会社グループ 代表者 日国サービス株式会社 構成員 八王子建物管理株式会社
契約金額	40,534,200 円（税込）
確保されるべき質・水準の設定項目	①利用者の満足度〔アンケート〕 ②品質の維持〔管理・運營業務の不備に起因する事故（公共サービスの提供の中断、空調の停止・停電・断水及び怪我の発生）の不発生〕 ③厚生補導、点検等保守、清掃、施設警備、その他運營業務〔業務報告等〕

2 受託事業者決定の経緯

入札参加希望者は 2 者であり、うち入札参加資格を有していたのは 1 者であった。平成 20 年 12 月 25 日に開札したところ予定価格の範囲内であったため、当該民間事業者が落札者となった。

Ⅱ 評価

1 評価方法について

検査法人から提出された平成 21 年度民間競争入札実施事業の実施状況報告（別添）に基づき、サービスの質の確保、実施経費等の観点から、実績評価を行うものとする。

2 対象公共サービスの実施内容に関する評価

（１）対象公共サービスの質

ア 利用者の満足度

（ア）実施結果

本業務においては、「12 の質問項目のうち 8 つの質問項目（下表太線内）について 4 段階の回答のうちの上位 2 段階以上（「やや満足」以上）の評価が 80%以上」を目標として設定したところ、アンケートの結果は、次のとおり。

質問項目	結果	質問項目	結果
①宿泊室の広さ、設備	83%	⑦オリエンテーション対応	94%
②共用施設の設備	88%	⑧スタッフの日常の対応	94%
③共用施設の清掃	97%	⑨食堂のメニューの量及び味	87%
④付帯設備や貸出備品	89%	⑩食堂の食事の量	88%
⑤入室時説明の状況	96%	⑪警備員の対応	93%
⑥共用施設の付属品・備品等	92%	⑫生活全般	91%

注：1 アンケートは研修課程が終了する都度実施した（計 36 回実施）。

2 累計の対象者数は 663 名であり、660 名から回答が得られた（回収率 99.5%）

なお、本アンケートにおける自由記載欄での指摘に基づき、消耗品の交換、臨時清掃の実施、設備の補修などの改善が行われている。

（イ）評価

36 回実施したアンケートにおいて、回収率、満足度とも高い数値を保っており、適切に実施されたと評価できる。また、自由記載での指摘に基づき改善が行われるなど、適切なフィードバックが行われている。

イ 品質の維持並びに厚生補導、点検等保守、清掃、施設警備及びその他運営業務

（ア）実施結果

管理・運営業務の不備に起因する事故（公共サービスの提供の中断、空調の停止・停電・断水及び怪我の発生）件数は 0 件であり、かつ厚生補導、点検等保守、清掃、施設警備、その他運営業務の実施状況にも問題は認められない。

(イ) 評価

適切に実施されたものと評価できる。

ウ 改善提案に基づいて実施要項に記載のなかった業務（食堂内の空調機開設日の定期点検及び厨房の油水分離層の点検）が実施され、また豪雨時の対応が適切かつ迅速に実施されるなど、事業者の創意工夫が発揮されていると考えられる。

(2) 実施経費

平成 21 年度から平成 22 年度に係る 2 年間の事業として民間競争入札を実施し、入札者が提出した企画書及び入札金額について、総合評価（除算方式（基礎点 60 点、加算点 120 点））を行い、落札者を決定した（従来は、業務ごとに一般競争入札等を実施し、業務ごとに一般の民間事業者が受注）。

契約額は 40,534 千円（税込）であり、これは、年間当たりで比較すると従来の実施経費（20 年度）の約 86.9%に相当し、1 年当たり約 3,048 千円の経費削減となっている。

従来費用（A）	： 23,315 千円（平成 20 年度実績値）
契約額（B）	： 40,534 千円（平成 21 年度・22 年度分）
削減額（C）	： 3,048 千円（ $A - B / 2$ ）
削減率（ $C / A \times 100$ ）	： 13.1%（対 20 年度）

3 評価のまとめ

(1) ①業務の実施に当たり確保されるべき質として設定された質・水準は、目標を達成していること、②事業者の改善提案に基づいて実施要項に記載のなかった業務（食堂内の空調機開設日の定期点検及び厨房の油水分離層の点検）が実施され、また豪雨時の対応が適切かつ迅速に実施されるなど、事業者の創意工夫が発揮されていること、③事業者の改善提案に基づいて新規の業務を追加しているにも関わらず、経費について 13.1%（年度当たり 3,048 千円）の削減となっていること及び④従来業務ごとに単年度で実施していた契約業務を、本民間競争入札の実施により包括化しかつ 2 年間に 1 回のみとしたため、契約事務が効率化されたことから、公共サービスの質の維持向上、経費の削減の双方の実現が達成されていると評価可能である。

(2) 他方、競争環境の確保の観点からは、入札参加希望者は 2 者であり、うち 1 者は入札参加資格を有していなかったことについて改善の取組が必要であり、平成 23 年度の民間競争入札については、積極的な情報開示等、検査法人においてより多くの民間事業者の入札への参加を促す方策を検討する必要がある。

以上

平成 22 年 6 月 3 日
自動車検査独立行政法人

平成 21 年度 民間競争入札実施事業
自動車検査独立行政法人中央実習センター施設等管理・運営事業の実施状況について

I 事業の概要

1. 委託業務内容

中央実習センターにおける厚生補導業務、点検等及び保守業務、清掃業務、施設警備業務、給食業務及びその他の運営業務

2. 業務委託期間

平成 21 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日

3. 受託事業者

日国サービス株式会社グループ

(構成員：日国サービス株式会社、八王子建物管理株式会社)

II 達成すべき質の達成状況及び評価

各業務	測定指標	評価
快適性の確保	<p>施設利用者（研修生）各研修におけるアンケート（5段階）における「やや満足」以上の割合（満足度）が80%以上であること。（詳細は別紙参照）</p> <p>アンケート実施時期：通年（平成21年度は36回実施） 対象者数：663名 回収数：660通 回収率：99.5%</p> <p>なお、自由記載欄での指摘に基づき、消耗品の交換、臨時清掃の実施、設備の補修などの改善が行われている。</p>	<p>適 (満足度92.8%)</p>
品質の維持	管理、運営業務の不備に起因する当該公共施設における公共サービスの提供の中断が全くないこと。	<p>適 (発生回数0回)</p>
	管理、運営業務の不備に起因する空調の停止、停電、断水が全くないこと。	<p>適 (発生回数0回)</p>
	管理、運営業務の不備に起因する中央実習センター施設内において怪我の発生が全くないこと。	<p>適 (発生回数0回)</p>

Ⅲ 確保すべき水準の達成状況及び評価

各業務	測 定 指 標	評価
厚生補導業務	<p>中央実習センターにおける研修のために宿泊する研修員及び講師等が滞在期間中快適かつ安全に過ごせるよう、以下の業務を確実に実施すること。</p> <p>研修準備、研修受付、研修員の生活支援、研修環境及び生活環境の管理、疾病、怪我等緊急時の対応、研修講師等の対応、電話の対応、業務日誌及び巡回日誌の報告</p>	<p>適</p> <p>（業務報告書の内容、業務監督者の所見等から、確実に実施されたと認められる。）</p>
点検等保守業務	<p>次の施設等について定期点検、臨時点検及び保守業務を適切に実施すること。</p> <p>空調設備機器、ボイラー、給水衛生機器、汚水処理施設、消防用設備、地下タンク設備、その他応急措置業務</p> <p>次の施設等について運転・監視及び日常点検、保守業務を適切に実施すること。</p> <p>中央監視制御装置、機械設備、建築物、電気設備、施設設備関係</p>	
清掃業務	<p>中央実習センターの指定する日常清掃及び定期清掃を行うものとし、業務の実施にあたっては、良好な環境衛生の維持と建材の保全に努めるとともに、労働安全衛生規則等を順守して安全管理に万全を期すること。</p>	
施設警備業務	<p>中央実習センター内の警備業務を行い、中央実習センター内の人（研修員等）、財産の安全を常に確保すること。</p>	
給食業務	<p>中央実習センター敷地内に設備されている食堂において、宿泊のため滞在する研修員または講師への朝昼夕の給食の提供の業務を包括的に行い、研修業務の効率的実施と研修員等の健康維持管理安全衛生を計画的かつ適切に行うこと。また、本業務の運営にあつては研修員等の健康保持のために良質で低廉な食事を安定して提供すること。</p>	
その他運営業務	<p>中央実習センターの管理・運営に関する次の業務を実施すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 給茶器の保守清掃（清掃の実施は年3回） ・ 分煙器の保守清掃（清掃の実施は年4回） ・ 植栽及び緑地の管理（伐採等の実施は年3回） 	

IV 実施経費の状況及び評価

1. 平成 21/22 年度と平成 20 年度の実施経費

平成 20 年度	(12 か月)	23,315 千円 (税込)
平成 21/22 年度	(24 か月)	40,534 千円 (税込)

2. 「平成 20 年度の実施経費」と「平成 21/22 年度の実施経費×1/2」を比較した経費削減効果

$$23,315 \text{ 千円} - 40,534 \times (1/2) \text{ 千円} = 3,048 \text{ 千円}$$

削減率 $\Delta 13.1\%$

3. 評価

平成 20 年度と比較して単年度で 3,048 千円 (13.1%) の経費削減効果があったものと評価できる。

V 競争状況及び評価

1. 本業務の応札状況

入札参加希望者は 2 者であったが、うち入札参加資格を有していたのは 1 者であった。

平成 20 年 12 月 25 日に開札したところ予定価格の範囲内であったため、当該民間事業者と契約した。

2. 平成 20 年度の応札状況

平成 20 年度は、次の業務について入札を行ったところ、応札は次のとおりであった。

施設警備業務 2 者

給食業務 1 者 (企画競争)

契約規模が小さい業務等については、随意契約 (19 件) を行っている。

3. 評価

施設の管理運営に係る契約を一括して行ったことにより、契約事務を軽減することができた。21 年度においては最終的に 1 者応札となったが、随意契約であった業務を含め民間競争入札に移行できたことは評価できる。

今後、競争の確保に向けて新規参入を促す情報提供等の努力を継続して行う必要がある。

VI 民間事業者からの改善提案による改善実施事項等

1. 改善状況等

民間事業者からの改善提案により食堂内の空調機開設日の定期点検清掃、厨房から排出される食用油の油水分離層の清掃を追加実施するとともに、平成 21 年 6 月 16 日 19 時 30 分頃のゲリラ豪雨による雨水被害の際、原因となった上部雨水マスの詰まり (落ち葉等) の除去を行った。

2. 評価

民間事業者からの改善提案による食堂内の空調機開設日の定期点検及び厨房の油水分離層の点検を随時実施したことにより厨房内の環境悪化や排水管の詰まりを未然に防止する効果があった。またゲリラ豪雨による雨水被害の防止については、民間事業者の知見の有効活用により原因となった上部雨水マスの詰まりの除去や関係各所に対する迅速な連絡を行う等、実習場内の実習機器、検査機器、ピット内への冠水被害等なく施設の保全を図ることができた。

VII 全体的な評価

民間競争入札を実施した平成 21 年度は、平成 20 年度の業務仕様と同じであったが、経費が 1 割以上削減されたことに加え、民間事業者の改善提案により、厨房の食用油の油水分離層の清掃を追加実施する等、より効果的な管理・運営が行われている。

アンケート結果一覧表

設問	評価
① 宿泊室の広さ、設備	83%
② 共用施設の設備	88%
③ 共用施設(食堂、風呂、洗面所、洗濯室、トイレ、廊下等)の清掃	97%
④ 付帯設備(ドライヤー、アイロン、洗濯機、乾燥機、給茶器等)や貸出備品	89%
⑤ 入室時説明の状況	96%
⑥ 共用施設の付属品・備品(蛍光灯、新聞、トイレトーパー)等	92%
⑦ オリエンテーション対応	94%
⑧ スタッフの日常の対応(ゴミ分別、生活指導、宅配便の取り次ぎ、研修員からの意見への対応、病気時の対応等)	94%
⑨ 食堂のメニューの量及び味	87%
⑩ 食堂の食事の量	88%
⑪ 警備員の対応	93%
⑫ 生活全般	91%

※上記設問中、評価項目は③及び⑤～⑪